

## 幼児教育学科(第一部・第三部)の三方針

各ポリシーにおいて育成すべきあるいは基盤として必要な人物像を「Ⅰ. 人間力」、「Ⅱ. 専門力」、「Ⅲ. 地域貢献力」の三つの柱と、学力の 3 要素「①知識・技能」、「②思考力・判断力・表現力」、「③主体性・多様性・協働性」の視点から整理・構成した。

なお、各ポリシーの文末の番号(①～③)は、表内の「学力の 3 要素」を示している。

### (1) 幼児教育学科(第一部・第三部)のディプロマ・ポリシー(DP)

幼児教育学科(第一部・第三部)では、以下の能力を身に付けた者に対して「短期大学士(幼児教育)」の学位を授与する。

DPⅠ:(人間力)

1. 社会で通用する教養と、自ら考え学び続ける態度を獲得している。(①②③)
2. 保育者として他者への共感力と、学びで得た豊かな表現力、コミュニケーション力を獲得している。(②③)

DPⅡ:(専門力)

1. 保育の専門的知識・技能を獲得し、子どもの「願い」や「夢中」を引き出す感性や表現力を獲得している。(①②)
2. 保育者としての社会的使命、責任を理解している。(①③)

DPⅢ:(地域貢献力)

現代社会の保育ニーズの把握に努め、自身の持ちうる能力を発揮することで、多様な環境に対応できる力を獲得している。(①②③)

(「学科で獲得する力」や「学力の 3 要素」と学科 DP の関係)

学科ディプロマ・ポリシー	DPⅠ	DPⅡ	DPⅢ
学科で獲得する力	人間力	専門力	地域貢献力
学力の 3 要素			
① 知識・技能	○	○	○
② 思考力・判断力・表現力	◎	○	○
③ 主体性・多様性・協働性	◎	◎	○

## (2) 幼児教育学科(第一部・第三部)のカリキュラム・ポリシー(CP)

### 1) 教育課程編成方針

以下の方針に基づき、幼児教育学科(第一部・第三部)のカリキュラムを編成する。

CPⅠ：(教養科目の編成方針)

教養科目に関しては、社会・地域とのつながりを理解し、保育者として必要な豊かで柔軟な人間性を育むという方針のもと、初年次教育と教養教育の観点から、大学における学びの基礎演習、現代の暮らし・経済、言語表現力、情報リテラシー、健康・体力に関する科目を配した教育課程を編成する。

CPⅡ：(専門科目の編成方針)

専門科目に関しては、現代の保育・教育ニーズに対応できる優れた専門職業人(保育者)を育成するために、教育・保育についての理解と子どもについての理解、保育に関する基礎知識と技能や保育実践を有機的に関連させた教育課程を編成する。

「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科カリキュラムの関係)

カリキュラム	教養科目	専門科目	
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	地域貢献力
① 知識・技能	○	◎	◎
② 思考力・判断力・表現力	○	◎	◎
③ 主体性・多様性・協働性	○	◎	◎

### 2) 教育課程実施方針

以下の方針に基づき、幼児教育学科(第一部・第三部)の教育を実施する。

CPⅢ：教育・保育の目的を理解し、保育の対象である子どもやその保護者について理解できる保育者を養成する。(①)

CPⅣ：上記の目的を達成できるように、具体的な教育・保育の内容や実践的な方法を理解し、修得を目指す。(①)

CPⅤ：知識、技能の修得に留まらず、自ら課題を発見し、学んだことを基に研究を重ねることを通して、進んで保育実践力を高めていく姿勢と能力を育てる。(②③)

### (3) 幼児教育学科(第一部・第三部)のアドミッション・ポリシー(AP)

幼児教育学科第一部・第三部への入学者に以下の力や資質を求める。

API：人間力

- ・子どもを大切に思い、子どもの成長を支えていくために、自ら学び続ける姿勢をもっている人。

APIII：専門力

- ・保育者に必要とされる知識・技能・態度を身に付けるための、基礎的な力をもっている人。

APIIII：地域貢献力

- ・社会の諸問題に関心を持ち、自らの問題として捉え、貢献する意欲をもっている人。

(「学科で獲得する力」や「学力の3要素」と学科 AP の関係)

学科アドミッション・ポリシー	API	APII	APIIII
学科で獲得する力 学力の3要素	人間力	専門力	地域貢献力
① 知識・技能	◎	○	○
② 思考力・判断力・表現力	◎	○	○
③ 主体性・多様性・協働性	◎	○	○

注：学科のアドミッション・ポリシーと入学選抜試験との関係は別途提示する。